



学校給食に対する教職員の改善意見にどう対応したか

日本共産党あやせ 上田 博之

●学校給食と子どもの食

Q 各小・中学校に設置した給食意見箱に寄せられた教職員の意見を見ると、おかずの量と種類が少ないとの指摘が多かったが、対応は。

A もう一品を具だくさんの汁物にするなど、栄養を考えて献立を工夫している。

Q 国から、長期休業中の児童保育の子どもたちに対し、食事の提供を支援するよう方針が示されたが、実施に向け、研究しないか。

A 事実を確認し、必要であれば研究していきたい。

Q 本市における子どもの貧困率を調査し、子育て支援に生かしていく考えは。

A 令和5年度中に行う、



ワクチン接種による健康被害救済制度の申請状況は

成田 龍一

●考えさせる公平な情報公開について

Q 令和5年8月に「新型コロナウイルスワクチンによる健康被害救済制度の認定件数が、過去45年間にわたる全てのワクチンによる認定件数の累計を越えた」とされた。9月11日時点で、全国では8800件申請され、認定率は約9割である。全国有志医師の会等の存在や、市民の制度理解についての周知徹底を求めるが、市への健康被害の申請件数は。

A 4年度の健康被害救済制度の申請件数は1件であり、結果は不認定であった。

●学校教育について

Q 米カリフォルニア州で子どもの性転換を認めない親

ん検診の必要性は、今後、ナッジ効果を利用した勧奨方法を調査・研究していく。

Q HPV検査の現状は。

A 国が5年度内にがん検診の指針の改正やHPV検査単独法の検査マニュアルなどを各自自治体に示す予定であるため、動向を注視し、積極的に取り組んでいく。



子どもの居場所づくりのために取り組むべき支援策は

あやせ未来会議 畑井 陽子

●子どもの居場所について

Q 学校に通学せず、家庭で学習するホームスクーリングという教育形式があるが、不登校の児童・生徒への支援に対する市の考えは。

A 現在、公立の小・中学校では原則認めていないが、一定の要件を満たす場合は、指導要録上、出席扱いとしている。児童・生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的に自立ができるよう、引き続き、個人に応じた支援をしていく。

Q 他市では社会福祉協議会に委託し、子どもが安心して過ごせる居場所をつくる学習生活支援事業を実施しているが、本市でも考えないか。

A 現在、生活困窮者自立



若者へのHPVワクチンの積極的な接種勧奨を

公明党 内山 恵子

●子宮がん予防対策について

Q 令和4年度に、HPVワクチン接種の積極的勧奨が再開したが、接種対象者の人数と接種率の状況は。

A 4年度は、定期接種対象者1341人のうち377人が接種し、接種率は28.1%となり、キャッチアップ接種対象者11310人のうち219人が接種し、接種率は1.9%となった。5年度は、7月末時点で、定期接種対象者72人、キャッチアップ接種対象者104人が接種した。

Q キャッチアップ接種対象者に対して、6年度末までの無料接種期間の周知と、接種費用の自己負担額を勧奨通知に記載しないか。

A 6年度末までに接種が完了するよう、6年度の勧奨通知を早期に行うとともに、接種金額を分かりやすく記載するなどの工夫をしていく。

Q 子宮がん検診は若者に抵抗があり、自分事と捉えてもらうのは難しいが、受診勧奨を工夫する考えは。

A ワクチン接種と子宮がん



資源ごみ収集所での当番による自治会負担への対策は

志政あやせ 橋川 佳彦

●ごみ収集管理に関する自治会負担について

Q 資源ごみ収集所の立ち当番などの自治会負担に対し、何か対策を検討しないか。

A 自治会にヒアリングを実施し、高齢化や生活様式の変化により、当番が負担との声もあり、金銭的補助や外部委託などを検討している。

Q 各家庭で特に量の多いペットボトルや缶、瓶などの資源物を地域のほかに公共施設等に常設収集所を設け、出しやすい環境を整備しては。

A 平成23年12月より、一部の公共施設などに回収用のかごを設置したが、排出量が少なく、管理上の課題もあり、1年で終了した。現在では生活様式などが変化しており、当時の課題を踏まえ、改めて調査、研究していく。

●高齢者の健康・生きがいづくりについて

Q 市老人クラブ連合会から、事業継承のための移動手段に係る支援の要望が市に提出されたようだが、支援策は。

A 移動による財政的支援



子どもの居場所づくりのために取り組むべき支援策は

あやせ未来会議 畑井 陽子

●子どもの居場所について

Q 学校に通学せず、家庭で学習するホームスクーリングという教育形式があるが、不登校の児童・生徒への支援に対する市の考えは。

A 現在、公立の小・中学校では原則認めていないが、一定の要件を満たす場合は、指導要録上、出席扱いとしている。児童・生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的に自立ができるよう、引き続き、個人に応じた支援をしていく。

Q 他市では社会福祉協議会に委託し、子どもが安心して過ごせる居場所をつくる学習生活支援事業を実施しているが、本市でも考えないか。

A 現在、生活困窮者自立

詳しい内容は会議録・HPで

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、市役所内情報公開コーナー、市立図書館、市議会に備えてある会議録をご覧ください。また、インターネットでも、会議録の閲覧や検索ができます。

綾瀬市議会

検索

なお、9月定例会の会議録は、11月下旬に閲覧できる予定です。

市議会本会議の様子をインターネットで!

市議会では、市民の皆さんに議会の様子をお伝えするため、本会議のインターネット配信を行っています。本会議中の議場の様子をそのまま公開する「ライブ中継」と、会議日程などから見たい場面を探すことのできる「録画中継」を配信しています。録画中継は、本会議終了後4日程度(土・日曜日、休日除く)で視聴できます。



市の鳥「カワセミ」